

2023年9月

会員の皆さま

一般社団法人型技術協会
会長 平田 禎治

一般社団法人型技術協会 年会費改定のお知らせ

日頃は型技術協会の活動に絶大なるご支援いただき、誠にありがとうございます。
日本経済も新型コロナウイルス感染症による一時的な衰退感から、バック・トゥ・ノーマルへの兆しが
感じ取れるようになり、早期の回復と更なる発展向上を期待しております。

さて、本会は1986年設立以来、型づくりに関連する、また型を利用する、技術者、経営者、
研究者の皆さまとともに、工作機械、放電加工機、工具等をはじめとした金型製作に必要な
要素技術など、広範囲にわたる技術交流や最新情報の提供および人材育成を行ってまいり
ました。その間、消費税導入やリーマンショックなどが日本経済や個人消費へも大きな影響を
およぼしました。また、本会は設立以来任意団体でありましたが2012年に法人化し一般社団
法人型技術協会となりました。

一方、年会費については、設立以来37年間様々な工夫を重ねながら据え置いてまいり
ましたが、次ページに記載しておりますように、昨今の物価上昇も考慮すると、今後の協会運営
上、非常に厳しい状況が予測される為、設立以来、はじめて年会費の改定を実施させて頂くこ
とにいたしました。また、本件につきましては、去る6月22日に開催された第12回通常総会に
て、会費規程の改定を報告しました。

本会は、いわゆる業界団体ではなく、産学が型技術に関する技術交流、情報交換を行い、
切磋琢磨してお互いに存在感を高め合う活動を行ってまいりました。
今後も本活動を続けることで、型技術の持続的な成長に貢献してまいりますので、協会会員の
皆様におかれましては、是非ともご理解ならびにご協力をお願い申し上げます。

年会費改定の背景

本会は先に述べましたように協会設立から 37 年間、年会費を据え置いてきました。しかしながら、昨今は以下の要因などにより収支が大幅に悪化しています。

- 1) 「型技術誌」(会員特典)の値上げによる費用増
協会設立時 1,000 円 ⇒ 2023 年 1,540 円 (11 月号から 1,760 円)
- 2) 消費税導入による費用増 1989 年導入 ⇒ 2023 年 10%
- 3) 物価上昇による各種経費の負担増
- 4) 法人化による事務管理費の増加

このような背景から、本会の継続的な活動を維持するため、2024 年度より年会費の改定をさせていただくこととし、2023 年 6 月 22 日の本会通常総会において、以下のように会費規程の改定を報告いたしました。

会員の種類・区分と新旧年会費

会員種類・区分	改定前 (2023 年度まで)	改定後 (2024 年度から)	
法人会員 S	—	120,000円	※1 新設
法人会員 A	60,000円	80,000円	
法人会員 B	30,000円	45,000円	
個人会員 A	13,500円	18,000円	
個人会員 B	5,000円	7,000円	
学生会員	2,000円	2,000円	据え置き

※1 法人会員 S は従業員数10,000名以上の企業を対象とする新たな区分

※ 年会費改定は 2024 年度分請求からとなります。

以上

従業員数10,000名以上の法人会員の企業様へ

先にご説明しましたとおり、型技術協会は37年ぶりに年会費を見直しました。その一環として、従来の会員区分に加えて、新しく従業員数10,000名以上の企業様をSランクの会員として格付けさせていただき、年会費を120,000円/年とさせていただきます。なにとぞ、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、複数の事業所を登録されている企業様においては、登録されたすべての事業所がSランクとなるのではなく、代表の1事業所のみをSランク事業所として登録させていただきます。

つきましては、どの事業所をSランクにするかのご連絡をお願いいたします。

以上